



国際ロータリー第2610地区
南砺ロータリークラブ



クラブ会報 **なんと**

NO. 2662

URL <http://www.nanto-rc.jp> E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/福光会館2Fサークルルーム1 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 心みつ光福 ☎ 0763-53-1333 53-1334

二十歳の集い
山田清志会員提供



第2723回例会 令和7年1月21日(火) 晴10℃

- ◆点 鐘 12:30 久患龍三会長
- ◆司 会 谷村賢治SAA
- ◆ソング 「奉仕の理想」
- ◆ゲスト 地区職業奉仕小委員会委員長 石橋孝史(富山中)



◆会長の時間 久患龍三会長

岡田武史さん68歳
1997年 サッカーワールドカップ日本代表監督初のワールドカップ出場を果たす
2007年 2度目の日本代表監督 2010年ワールドカップアフリカ大会でベスト16に
2014年 FC今治オーナーに就任 四国の地域リーグから5年後にリーグに加盟
2023年 40億を集めて複合型「パリ・ヒーリング・ビレッジ里山スタジアム」完成
2024年 私立FC今治高等学校学園長に就任。同年12月、FC今治はJ2に昇格

★なぜ今治のサッカーチームのオーナーになったのか
「30年前、Jリーグができたときに世界中の有名な監督が来て、みんなが言う。「どうして日本の選手は『ここではどうプレーするんだ?』って聞くんだ?それを自分で判断するのがサッカーだろ」と言われたんですね、もう30年ちょっと前ですけれど。ところが、当時、僕ら指導者は、「ここでボール持ったら、ここへ蹴れ!」って指導していたんですよ。「そうか、選手に自由を与えて、自分で判断させなきゃいけないんだ」。それで「自由だ、自由だ」と自由を与えてきて、かなりよきはなったんだけど、主体性がないところがまだあるなと感じたんで、ここへ来てそれをやりたいと思ったんですね。」

★岡田さんがオーナー就任9年目の2023年、前例のない複合型施設、人々の交流が生まれる「パリ・ヒーリング・ビレッジ里山スタジアム」が完成「アマチュアのトップに行くのにスタジアムがないといけなかったんですよ。それで議会の人たちに言ったけど、誰も相手してくれなくて、ポカンって、「おまえ、野球の街 今治で何を言ってるんだ」、「サッカー専用スタジアム?そんなものできるわけないだろ」、「5000人?おまえ、今治で誰が見に行くんだ」ってさんざん言われて。それでも、「もし土地を無償で貸していただいたら、僕、自分で建てます」って言ったんですね。そこで「パリ・ヒーリング・ビレッジ里山スタジアム」というストーリーを考えて。東京の金融やITでメンタル痛んだ若者が、今治へ来たなら人間性を取り戻す、そういう場所にするんだと。そういうことで、本来だったら駐車場にするべきような場所に、カフェを作り、障害者の通所施設を作り、畑を作り、外で田んぼもやっていますけど、ワインを作るブドウを植え、ドッグランを作り…いろんなものを作って、人間性を取り戻せる場所にする。それとともに、コンクリートでできた、あと朽ちていくだけ、そんな箱ものは作りません。どんどん緑豊かになって、地元の人々の心のよりどころとして365日人が行き交う、里山のような場所を作るんです。ほんとにみんなが力を貸してくださったおかげで。このスタジアムは、大きな資本とかお金持とか、または行政がポンと建てたんじゃないんですよ。ほんとに小さな人、多くの人の思いが集まってようやくできた。僕は1銭も持ってないですから。

★なぜ高校の学園長に就任
「教育は社会に出るための準備だと思っていて、その社会がこれだけ大きく変わっているのに、同じ教育をしているのはおかしいんじゃない?」と思っていたわけ。これから「ロールモデル(模範になる人物)がない時代」が来る。先が見えない時代が来て、その時に自分で判断して、自分でやってみなきゃしょうがないんですよ。やつたら大体半分は失敗するから、「エラー・アンド・ラーンの時代」だ。今までの教育っていうのは失敗しないことを学んできたんですね。でも、これからはそうやって失敗して学んでいくっていう時代になる。それとともに、これからAIが発達してきて、何が本当か分からないっていうときに、やっぱり、自分をしっかり持たなきゃいけない。心身ともにタフでないとイケない。そういう能力を持った人材が必要だろうと。

★ここからの10年、岡田さんはどう過ごしていられるおつもりですか?
「ともかくやってみる、それで、ダメだと思ったらまた戻ってくる、こういうことを繰り返してきているんで、今回10年間もそうやってきたし、ここから先10年も、また同じように、大きな夢を持って、目の前のことを一生懸命やっていく。
うちのプロミスっていう、行動指針みたいなのがあるんですけど、そこに「遠い夢を追い、近くの目標を見つめて、今できることに全力を尽くす」というのがあるんですね。まあ、僕が作ったんですけど、これは僕の生き方そのものなんですよ。だから、これからの10年も同じような生き方をするんじゃないかな。」岡田武史 サッカー元日本代表監督が高校の学園長にで検索してください。詳細なインタビュー記事がご覧いただけます。

- ### ◆幹事報告 野村守副幹事
1. ガバナー事務所からの案内の件
(ア) 第12回全国インターアクト研究会・長野会議開催のご案内
・日時: 2025/4/26(土)・開催場所: 松本市 ホテルブエナビスタ
(イ) 例会変更他 (ア) 例会変更: 射水RC
(イ) 富山第4分区RC親睦ゴルフ大会・日時5/25(日)・詳細別途連絡

- ### ◆1月会員誕生日祝
- 2日大島 孝君 11日森 雄一君
12日山田清志君 16日谷口和尋君
18日岩木貴之君 21日尾山裕和君
27日松本敏博君



♥〓結婚記念日祝 2日本田 敏君
※尾山裕和君 今年は乙巳(きのと・み)の年で60年に1度の珍しい年です。72歳になりましたが、仕事もゴルフもまだまだ頑張ります。

- ### ◆委員会報告
- R情報・雑誌委員会 古瀬喜八郎委員長
ロータリーの友1月号の紹介
P5-例会では笑顔が大事。会員を拍手で迎えることで皆笑顔に。P8-職業奉仕月間特集、ハーバート・テラーが4つのテストの実践で会社の苦境を乗り越えた話。P12-本田博己さん、4つのテストは自分自身や会社を判断する鏡として今日においても有効。P26-「デジタルの困りごとと私たちに任せて」AIが高齢者のデジタル使用のお助け。縦P4-佛蘭工舎 総棟梁小川三夫さんの苦勞した修業時代の話。縦P16-北陸能登特別編、被災地輪島での取材。ご一読を。
 - 会員増強委員会 尾山裕和委員長
今期純増3名目標は振り出しに戻りました。来週から皆さんからのご推薦戴ける方の紹介カードを設置しますのでご協力をお願い致します。

★ニコニコボックス 1/7 吉田美花委員長

石橋孝史様(富山中) 貴重な機会を戴き有難うございました。
久患君 石橋職業奉仕委員長様ようこそ。卓話宜しくお願いします。
川合君 今年初めての福光会館での例会、谷村さん玄関の融雪ホース、ありがとうございました。
吉田美君 地区職業奉仕委員長石橋孝史様、卓話よろしくお願ひ致します。
中田君 石橋様ようこそ!
片山道君 去年から外国の方が多いな~と思っていたんですが、NYタイムズ52選の「世界の旅先に」富山が30位大阪が38位に。益々国際的になります。♥。
荒井君 久しぶりに職業奉仕の卓話、吉田さん期待しております。
井沢君 年明け早々からチョットいいことがありました。(ニコニコ)
森雄君 誕生日ありがとうございました。
本田君 1月誕生日の方、おめでとうございます。先日は、息子のことで沢山お祝いの言葉を戴きまして有難うございました。頑張ります。
高瀬君 今年雪が少ないですが、2月3月どうなりますかね。降ってほしいような、ほしくないような。
吉田美君 今日バルさん、お弁当を楽しみに来ました。
古瀬君 大寒も過ぎ、雪も少なく助かります。吉田さん卓話。石橋様ようこそ。後ほどよろしくお願ひします。
石崎和君 ヒートショックに気をつけてください。
木勢君 雪の無い温かい日です。日々の生活も楽しみましょう!
安居君 雪が少なくほかほか日和、春のようです。
谷村賢君 本田さん、お子さんが素晴らしい成績で、おめでとうございます。
柳君 大寒とは思えない天気です。もう少しは雪、降っても良いかな。誕生日の皆さん、本田さんは重ねておめでとうございます。
石崎雄君 インフルエンザが流行ってますね。みなさん気をつけて下さい。
木村君 今冬は今のところ積雪が非常に少なくありがたい!ただ風邪には気をつけましょう。
谷口君 誕生日ありがとうございました。いよいよ年金生活者に入ります。
尾山君、大島君、岩木君、山田清君/誕生日祝ありがとうございました。
鮎島君 遅刻しました。ごめんなさい。

本日のプログラム 1月28日(火) 第2724回例会
クラブ協議会
担当 久患龍三会長



本日は大変貴重なお時間を頂き、職業奉仕奉仕月間ということで、地区の職業奉仕委員会の取り組みについてお話しさせていただければと思います。私が地区の職業奉仕の委員になったのが2017年で、今は8年目になります。この2017年度の前年の岡部年度は職業奉仕の委員会が大きくやり方を変えました。21年度は副委員長をやったんですが、途中で委員長が体調を崩し、急遽委員長に1月からなり、その後22、23、24年度と3年間、委員長をさせていただいて、今最終の年度になったということでありまして。この2017年から今年まで、どんなことを地区として取り組んできたかということ、今日は皆さんにお伝えをできればと思っています。

＜2017年—2020年度 地区職業奉仕委員会＞

2017年度は下口ガバナーで、富山未来の林さんが委員長をされました。その時にこのテキスト「ロータリー—歴史探訪（シエルドンの実像を追って）—最近見られたことはないと思いますが、この見られてない状況を解決したいんです。この職業奉仕のテキストを1年かけて作成しました。シエルドンの実状とか、100年前どうしてロータリーができたのかということ、特に最近入会した人たちはなかなか知る機会がないんじゃないかなと思ったからです。



2018年度、若林年度は本田P Gにお声かけして、職業奉仕に関する勉強会という形で、職業奉仕に興味のある方たちに声をかけてやりました。2019年度でも各クラブで、勉強会をしていく取り組みを地区で推進し、勉強会を継続してもらうよう支援をしました。職業奉仕の中身について、いろいろ学ぶ機会を作るのに取り組んできたのがこの3年間でした。次、2020年度になると、コロナ禍で地区での活動ができなかったんですが、この年は藤沢RCの滝沢さんに、職業奉仕に関して「内向き/外向き」というちょっと変わった切り口で、コロナ禍のためリモートで講演会をしていただきました。私はこの時司会を務めました。リモートはいろいろ大変でした。

＜委員長を拝命して 2021年度＞

2021年度は当初副委員長でしたが、委員長が体調を崩されて、10月にクラブ委員長会議をやる予定が延期となり、急遽勉強して2月ぐらいにクラブ委員長会議を行いました。この2021年度の最初に委員長になられた方が、もう少し分かりやすく、みんなに伝えていこうと当時おっしゃっていたので、ロータリークラブの創設当時の背景が分かる動画、「ポール・ハリスとロータリー」の動画を見ていただくことに取り組みました。視聴済み、視聴予定を含め59%、38クラブに関心を持っていただきました。

＜宗教組織と会社運営＞

私は2017年度に地区の委員を拝命しましたが、実は入会したのが2014年の11月で、殆どロータリーのことを分からずに地区の委員になりました。岡部年度に職業奉仕委員長されていた村山さんに、その年の12月に、歯科医の村山さんの僕は患者だったので、治療を受けていて口を開けている最中に、「来年、地区の職業奉仕の委員やってもらえないか」と言われ、「はい」というしかなかった。後で村山さんに「なんで僕なんですか」と聞いたら、「石橋さんは、仏教を勉強されてますから、多分職業奉仕はよく理解できると思います」と言われました。後で解ったのですが、仏教を勉強していたこととロータリーの歴史を学ぶということと非常に繋がっていました。仏教でも浄土真宗というと、親鸞聖人が開祖で800年後の現在もずっと続いてきている。私はその事を10年ぐらい学んで、経営と仏教って一緒なんじゃないかという思いがあります。僕は経営のコンサルティングを今していますが、経営者から「うちの社員言うこと聞かない」とか、「思いが伝わらない」とかよく言われます。真宗とは違いますが、永平寺など禅寺へ行くとも今でも、言われた通りやらないと修行させてもらえない。だけど、みんな修行に行く。もう800年永平寺も続いている。なんであんなに続いているのか、一方会社はなんでうまくいかないのかと。ロータリーも100年前の当時シカゴは非常に荒れた社会で、そういう時代だったからこそ、ロータリーが立ち上がったんだと。今は時代が変わってきてロータリーもどんどん変わってきてますが、やはりスタートを知ることは非常に大切ですね。本願寺のお寺では色々新しい若い人たちが、仏教に興味を持ってもらえるような取り組みを時代に合わせた形でどんどん取り組んでおられます。ロータリーも同じように、ただロータリーに入れよではなかなか今は入会がしづらい・入りづらい環境がこれ一緒なんじゃないか。やはり組織は時代によって、変化を求められると思います。

＜委員長としての3年間 2022年—2024年度＞

地区の職業奉仕の小委員会として何をすればいいか。私はちょうど40歳の頃に、富山の3、4人ぐらいの経営者と一緒に異業種の勉強会「ノーマンサークル」ノーマンはイエスの反対ですね、ノーを言えるような仲間作りをしよう、ということで2004年の10月に勉強会を立ち上げました。現在は「富山本物研究所」という名前で、会員数は53名になりました。これも私が立ち上げた時とは全く違うような考え方の若い世代の人たちが入ってきて、会員数が順調に増えている状況です。私が委員長としての22年から3年プランですが、入会5年未満の会員がロータリーをより理解できるような、そんな取り組みを軸としてやったらいいんじゃないかと思いました。私は入会5年未満の会員をターゲットにしよう、自分が職業奉仕のことを学ぶというよりは、脈々と続いてきている自分のクラブの歴史を学ぶことが職業奉仕に繋がるんじゃないかということで、2022年度の職業奉仕のクラブ委員長会議ではディスカッションをして貰いました。クラブ委員長の皆さんには、ご自身のロータリーは、いつ、誰がどのような背景で設立をされたか、どんな先輩がおられ、どのような職業奉仕をしてきたか、ということ委員長の皆さんに宿題を出して、5人位のチームになってディスカッションをして戴きました。非常に盛り上がりました。

次の23年度は、クラブにおける職業奉仕の勉強会を開催することによって、入会歴の浅い会員がロータリーをより理解していただくことを目指しました。

クラブとして創設からこれまでどのような職業奉仕に取り組んできたのか、地区内各クラブの職業奉仕活動の共有、クラブ内で会員同士の職業奉仕に関する考え方を共有してもらう、などを各クラブで取り組んでもらうことを目標としました。そして今年度は入会歴を超えて会員同士がラーニング形式のディスカッションを行い、各クラブの次代の職業奉仕活動につなげることを目指します。実は今日お手元に配布しましたディスカッションテーマですが、こういうテーマで、吉田委員長を中心に一度、5人ぐらいずつのチームを作って、今お渡ししているようなテーマをみんなで話し合っただけならば、特に入会歴が10年未満の方たちにもよりクラブというものを、身近に考え感じていただけるようになるんじゃないかと思っています。

地区としては、職業奉仕の中身を深く学ぶ、職業奉仕というテーマを通じてクラブの歴史を、世代を超えて、みんなが共有できる、そういう形からぜひクラブ活性化を目指してほしいということです。今日は貴重な時間を戴きまして、ご清聴有難うございました。

◆出席報告

松村壽出席副委員長

会員数	1月21日出席率	1月7日(修正)
44 (免除1)	75.00% (出33)	79.55% (出35内メーク1)

次回の予定 2月4日(火) 第2725回例会
国際奉仕セミナー
担当 榊 祐人国際奉仕委員長

(今回の会報担当:中田裕二)

メーキャップ: 鮫島智爾君